

# 令和6年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間小学校
-----	-----------

## 1 学校教育目標

豊かな心で、自ら考え行動できる子の育成

## 2 今年度の学校重点目標

自信をつける教育の創造 ～難しい・深い・おもしろい～  
 視点（主語を大切に）を明確にする（誰が、何にとって）  
 (1)よい授業づくり（「何を学ぶ」だけでなく、「何ができるようになるか」の重視）  
 (2)よい授業の土台づくり（誰もが安心でき、笑顔で1日を終える）  
 (3)よい学校生活のための習慣づくり「凡事徹底」（継続的指導と定期的評価）  
 (4)よい学校生活のための環境づくり（安全・機能・美観）

## 3 総合的な自己評価

今年度は、行事の内容や実施方法について制限なしで新たな様式で予定通りに実施することができた。保護者や地域の方にボランティアとして学習支援に入っていたりすることもできた。保護者・児童のアンケートにおいても、全体的に肯定的な評価が多く、総合的な自己評価としては概ね良好と判断できる。来年度も「夢・やさしさ・笑顔あふれる学校」を目指し、学校・家庭・地域が連携してより一層の充実を目指す。

## 4 総合的な学校関係者評価

運動会、音楽会、授業参観やオープンスクールなどの行事を通して子どもたちの元気な姿が見られて良かった。子どもの姿を通して学校の様子や家庭力が見え、しっかりと育っていると感じる。地域を積極的に活用し、学校と家庭、地域のつながりを大切にして今後も進めてもらいたい。

## 5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信と情報収集について	定期的、臨時的に学校だより、保健だより、学年通信、HP等を通じて家庭や地域への情報発信に努めた。今年度は地域に公開はできなかったが保護者向けにはオープンスクールが実施できた。	今後も継続して実施すると共に学校ホームページの充実を図り積極的に情報発信していく。また、来年度は地域に向けてのオープンスクールを検討していく。	学校だよりは回覧やコミセンでもらって目を通している。オープンスクールでは児童の普段の様子や対話的で和やかな授業の様子が見られて良かった。
	住民参加の教育活動について	地域の方に校外学習の引率、ミシンボランティアとして学習支援をお世話になった。また、図書ボランティアによる読み聞かせや図書室の環境整備、登下校の安全指導など、温かく見守っていただいた。	今後も地域ボランティアの活用を単元構想に位置付けて年間を通じて計画的に行う。コーディネーターの人材発掘及び連携体制を整える。	今年度は3年生との交流(プイプイの森)がなかったため、来年度は是非行きたい。コーディネーターを確立して連携を図れるとよい。
学習指導	個別最適な学び・協働的な学びを意識した授業の確立について	授業の中での制限がほぼなくなり、多様な授業形態(少人数、グループ)を取り入れることができ、また授業でタブレットを効果的に活用し、ほとんどの児童が意欲的に学習に取り組んでいる。	学校外での学びの場が十分に設定できなかったため、校外も視野に入れ、より魅力的な授業づくりに努める。	ICTを活用して、調べたことをグラフ化して発表する授業があつてとても良かった。家庭でのタブレットの使い方に課題が見られる。
	思考力・表現力の育成について	朝学習や家庭学習、タブレット課題、兵庫型学習システムの活用により、個に応じた基礎的な学習の定着はできているが話しの趣旨の読み取りや論理的思考に課題が見られる。狭間フェスティバルではこれまでの学習を児童の豊かな発想に繋げ活気のある児童の姿が見られた。	他者を意識して自分の考えを発表し論理的な思考をする場面の設定や既習事項の活用を意識した授業づくりにつとめる。	様々な学習において国語力が必要であるとする。正しい日本語の指導を行い、語彙力、理解力、表現力の育成に繋げてもらいたい。
学力向上指導改善プラン	家庭学習の習慣の確立と充実について	家庭学習の手引きを使って、自主学習でどんな内容をどんなふうに学習したらよいか、学年に応じた方法を児童に具体的に指示した。また、漢字・算数ノートコンクールを行い、全校生や保護者が目にする場所に掲示することで、他者の頑張りを認め、自分の学びに活かそうとする意欲につながった。	家庭学習の手引きも活用しながら、自発的に家庭学習や読書に取り組めるよう、家庭と連携を図る取り組みを進めていきたい。	ノートコンクールで上手にまとめたノートや自主学習をノートを廊下に掲示するなど児童の学習意欲を高める工夫が行われている。
	読書活動の推進について	司書や図書ボランティアと連携を図り、調べ学習での活用や読み聞かせ、図書室まつり等読書活動への啓発、推進ができた。環境整備にも力を入れ、児童にとって快適な場づくりができた。	家庭読書の定着に向けて読書週間や家庭読書の様子进行交流するなどさらに啓発を進めていきたい。	お話し会で読んだ本やシリーズで喜んで借りて帰る児童もいた。児童と本の懸け橋となる活動ができて良かった。
特別支援教育	特別支援学級在籍児童についての共通理解と支援体制について	年度初め、年度末に在籍児童の状況について共通理解を図り、個に応じた支援のあり方を確認した。年度末には引き継ぎを兼ね、支援方法等の共通理解に努めている。保護者に授業を参観していただく機会ももてた。	児童の引継ぎを丁寧に行いながら、特別支援コーディネーターを中心に個に応じた支援体制を強化する。中学校区での連携の在り方を検討していく必要がある。	クラスによって雰囲気の違い、担任の個性が出るが、児童一人ひとりを理解し、誰もが楽しいと思える授業、興味を持つような授業、退屈させない授業づくりが大切だと感じる。
	普通学級在籍児童で、支援を必要とする児童実態把握と支援について	児童の状況を把握し、保護者と連携しながら巡回相談、外部専門員相談、教育相談等を活用し進めている。支援体制の確認・児童理解のための研修を定期的に行っている。	年度初めに児童理解研修を実施し、全教職員の共通理解のもと同じ方向性をもって指導に当たる。	全教職員の共通理解と方向性を共有した連携が大切である。
人権教育	子どもたちの人権意識を高める取り組みについて	「やさしさ発見の日」の啓発や「やさしさ発見朝会」が定着化し、「やさしさボトル」という新しい取り組みも行い、全校生で人権意識を共有する場が持てた。授業公開や校内研修を行い、授業づくりにも力を入れて指導している。	「やさしさ発見の日」や「やさしさ発見朝会」等を活用し、強化月間を設定し、人権意識向上の日常化を図る。	やさしさ発見の日に加えて、やさしさボトルという新しい取り組みができた。子ども同士や大人からのやさしさなど人へのやさしさには取り組んでいるが、自然環境に対するやさしさの啓発にも取り組む必要があるのではないか。
	保護者への啓発について	年間に5回「人権はさま」を発行し、学年での取り組み内容を伝えている。また、2学期に人権参観日を開催し保護者に見学していただき、参観後は学級懇談会で人権について意見交流の機会が持てた。	人権懇談会や研修会で保護者と共に意見交流できる機会を持ち、お互いの人権意識の向上を図る。懇談会への参加者を増やす工夫の検討を行う。	
生徒指導の充実	いじめ防止基本方針に基づく予防的生徒指導について	いじめアンケート、QUアンケート、はさまアンケートの実施により、多角的に児童の現状把握に努めている。委員会や職員会議において毎月各クラスからの報告を情報共有している。	いじめ防止強化週間を設け、学校全体の取り組みを強化するとともに報告・連絡・相談を密に早期対応・情報共有の更なる徹底に努める。	いじめは以前は分かりやすかったが、SNSでのいじめは見えにくくなっている。どのように対処していくのがよいか課題である。アンケートで「先生と話していますか」のポイントが低いのがさみしく思う。
	児童についての共通理解と組織的対応について	年度初め、年度末に児童理解研修を行い、全教職員の共通理解を図った。組織的対応を心がけ、個別ケース会議を開催するなど関係機関との連携を図った。	組織体制を強化し、教職員の共通理解のもと必要に応じて個別ケース会議の開催や関係機関との連携を図る。	児童の登下校の様子を見ていて、やさしい子が多いと思う。異変があれば学校とも連携をとって見守っていきたい。
	基本的な生活習慣と自主性の育成について	外部講師を招聘し、交通安全教室や薬物乱用防止教室、情報モラル教室等を実施し、規範意識の醸成を図った。今年度は児童によるあいさつ運動を実施できた。	学校だより、学年通信、HP等を通じて、積極的な啓発と情報発信を行いながら、保護者との連携を密にし、生活の安定を図る。	情報モラル教室は学年を下げた方が必要があるのではないか。

## 6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
1学期	保護者対象行事(運動会)アンケート・前期児童アンケート・いじめアンケート(1学期)・QUアンケート(第1回)
2学期	いじめアンケート(2学期)・QUアンケート(第2回)・保護者対象行事(音楽会)アンケート
3学期	後期児童アンケート・いじめアンケート(3学期)・保護者アンケート・教職員による学校評価

## 7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
6月25日	第1回学校地域運営協議会 学校経営、学校行事、生徒指導推進計画、学力向上指導改善プラン、学校評価計画、学校と地域との連携等
12月13日	第2回学校地域運営協議会 授業見学、学校行事、学力向上に向けた取組、学校と地域との連携等
3月6日	第3回学校地域運営協議会 学力向上指導改善プラン、学校評価、学校と地域との連携、本年度の反省と来年度に向けて等

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

## 8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
3月	保護者宛文書	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。保護者配付。	
3月	学校ホームページ	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。	

(別紙様式2)

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います

※ 行は、適宜加除願います。